

平成28年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(地理歴史)科目：(世界史) 対象：(第2学年 A組～F組)

科目担当者：(A組:印)(B組:印)(C組:印)(D組:印)(E組:印)(F組:印)

教科・科目の指導目標	現代社会における様々な問題を、歴史的因果関係と結び付けて理解できる基礎的知識と思考力を養う。地理的条件や社会の変容など、多角的にとらえられる視野を身につける。資料を読み取るための着眼点を養うとともに、考察し表現する力を習得する。
------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>定期考査等を機会として、基礎的知識の定着に取り組むだけでなく、記述問題を課されることで、基礎知識をもとに表現する重要性を認識する生徒が増えてきている。</p> <p>しかし、知識を用語として記憶するのみにとどまり、地理的要因・社会的事象との因果関係を十分に理解できずにいる生徒も散見される。また、日本語表現が拙く、事実を誤認しているかのような表現もあり、資料からポイントを読み解けない様子が見受けられる。</p>	<p>①より深い理解が得られるように、日ごろの授業の中で機会をとらえて、反復学習の指導を行う</p> <p>②より深い理解が得られるように、現代社会との因果関係を指摘し、多角的な視野を養いつつ、知識の定着を目指す</p> <p>③地図や資料の読み取り方を授業を通して指導し、地理的知識を応用する力を身に付けさせる</p> <p>④定期考査や課題を通して、思考力・表現力を身に付けさせる</p>	<p>①授業内の発問や定期考査などを通して、これまで学習してきた社会的知識を反復させ、基礎知識の理解を深める</p> <p>②資料集や視聴覚教材などを活用して、現代社会の問題を知るとともに、歴史的な基礎知識の定着を図る</p> <p>③教材開発を進めたり、資料集などを活用したりすることで、思考を積み重ねて答える資料問題を定期考査等において出題する</p> <p>④定期考査等において、知識、思考を積み重ねて答える論述式設問を設定し、思考の構成力ならびに文章表現力の育成に努める。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			